

令和3年（2021）

■ 11月4日（金）

真福寺谷をいろいろ豊かに縁取った木立の葉が舞い始めました。

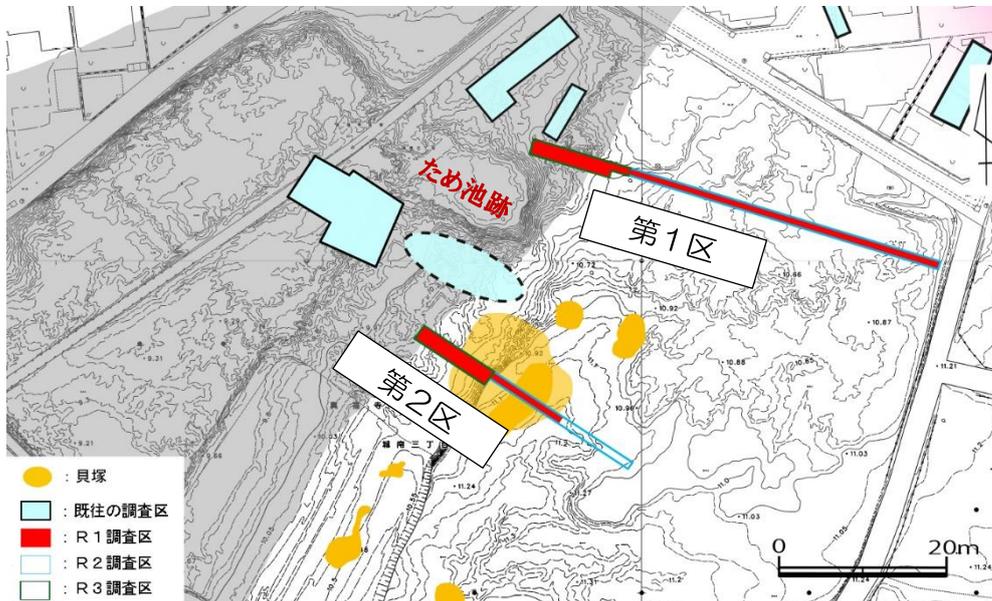


図1 調査区の位置

### ① 第1区（北側の調査区）の調査

調査区西側の調査を継続しています。

らんたいしつき  
藍胎漆器を検出した 2a 層（暗褐色土）より

下層の 2b 層（黒色土）の遺物の取り上げ、  
および 3 層（暗黄褐色土）の掘り下げを行  
っています。

2b 層とした黒色土層中は晩期前葉安行  
3b 式を主体とし、一部晩期中葉安行 3c 式  
をごく少量伴っていました（写真1～4）。  
本層からは、製塩土器の破片が多数出土して  
います。



写真1 2b層の調査



写真2 2b層の上に累積する縄文時代の土層



写真3 2b層の遺物

令和3年（2021）

2b層の下には3層とした黄色味のある暗黄褐色土層が堆積しています。本層からも、2b層（黒色土層）ほどではありませんが、引き続き多くの遺物が出土しています



写真4 2b層の遺物